innovation

東京工業大学
MOT特別セミナー

日本企業のイノベーション課題

2007. 10. 19

(株)RHJIインダストリアル・パートナーズ・アジア
代表取締役社長　倉重英樹

RHJ INTERNATIONAL

「イノベーション25」

長期戦略指針「イノベーション25」

～未来をつくる、無限の可能性への挑戦～

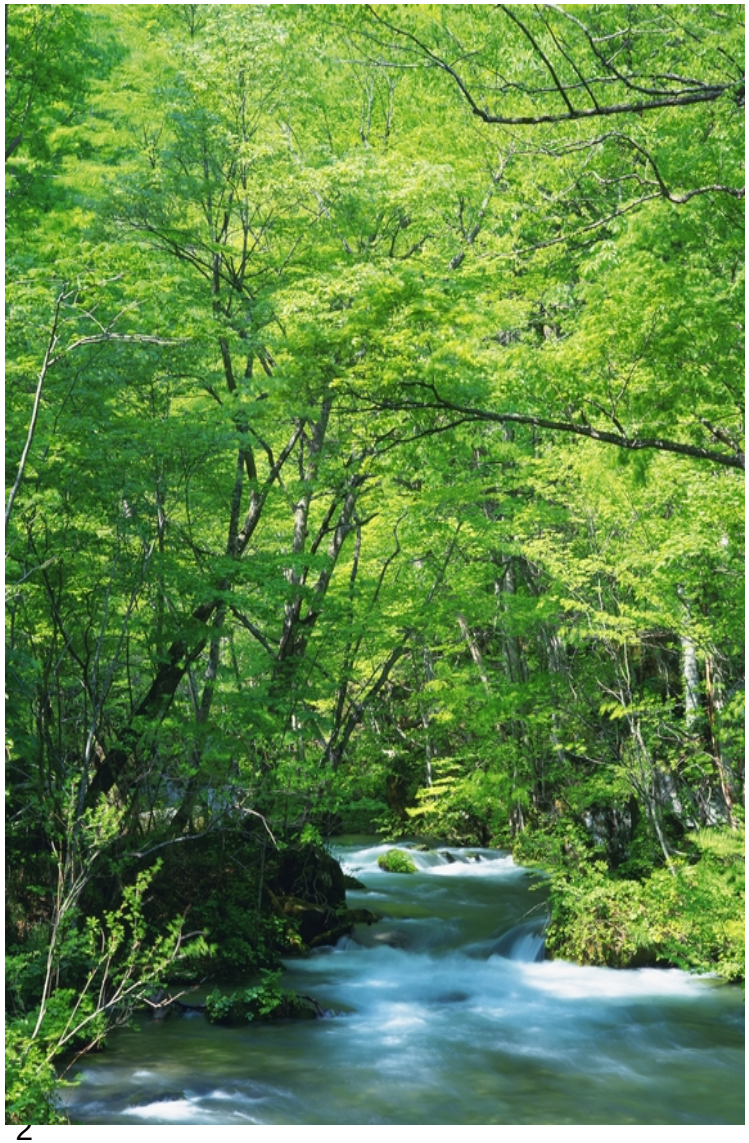
2007. 5. 25

イノベーション戦略会議

「イノベーション25」は、2025年までを視野に入れ、豊かで希望に溢れる日本の未来をどのように実現していくか、そのための研究開発、社会制度の改革、人材の育成等短期、中長期にわたって取り組むべき政策を示したものである。

RHJ INTERNATIONAL

「イノベーション25」



イノベーションとは、技術の革新にとどまらず、これまでとは全く違った新たな考え方、仕組みを取り入れて、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことである。

基本的考え方

- 未来に向けての高い目標設定と挑戦
- グローバル化と情報化の進展への的確な対応
- 生活者の視点の重視
- 多様性を備えた変化と可能性に富む社会への変革
- 「出る杭」を伸ばす等人材育成が最重要

RHJ INTERNATIONAL

ビジネス環境

P.ドラッカー

「誰も知らない世界がやってくる。この転換期は30年位続く。」

工業社会 → 情報知識社会

- グローバル
- コンバージェンス
- ブロードバンド
- ソリューション

未経験

- テロ
- M&A
- BRICs

予測不能

持続的成長

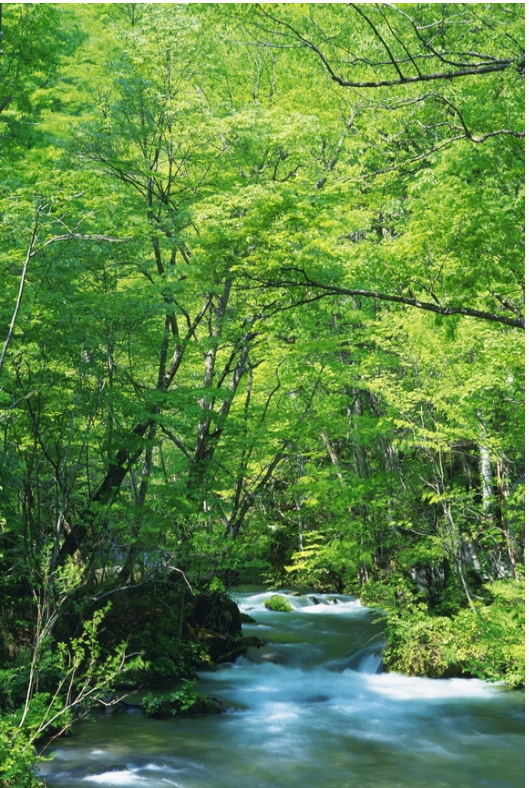
Innovative & Speedy

RHJ INTERNATIONAL

ソリューション

モノ社会	→	コト社会(感性社会)
付加価値	→	課題解決価値

●ソリューション ＝ お客様の課題を解決すること
＝ モノ ＋ サービス



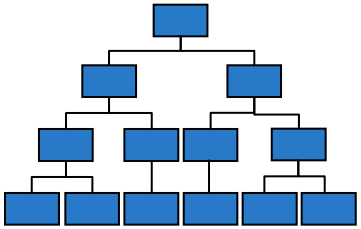
サービス ビジネス:　100 – 1 ＝ 0
サービス 品質 ＝ f（能力、モチベーション）

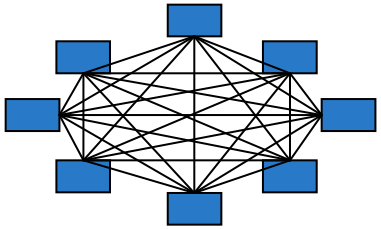
人財資産がビジネス戦略を駆動する。

RHJ INTERNATIONAL

ブロードバンド・ユビキタス

文字情報	→	複合情報
F2F	→	インターネット





●コマンド駆動

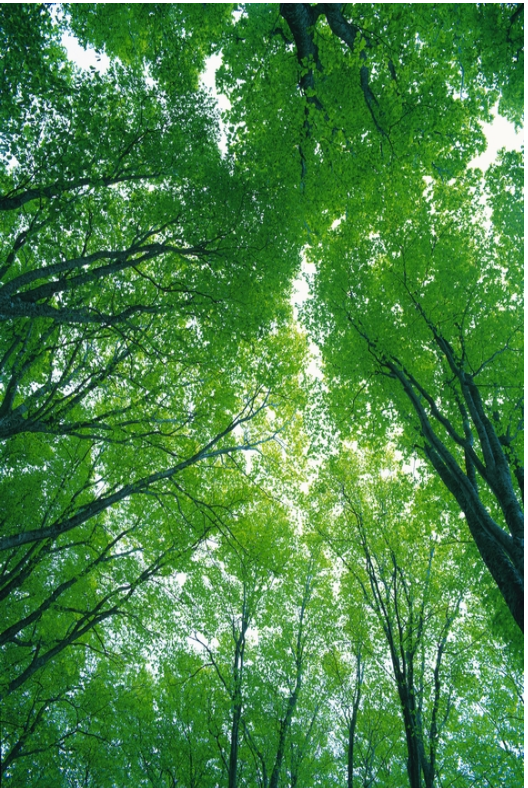
- 業務の処理
- 組織単位
- 自社内完結
- 情報伝達
- 効率追求

Negotiation

●ビジョン駆動

- 仕事の遂行
- プロジェクト
- アライアンス
- 情報共有
- 価値創造

Collaboration



RHJ INTERNATIONAL

ビジネス環境

P.ドラッカー

「誰も知らない世界がやってくる。この転換期は30年位続く。」

工業社会 → 情報知識社会

- グローバル
- コンバージェンス
- ブロードバンド
- ソリューション

未経験

- テロ
- M&A
- BRICs

予測不能

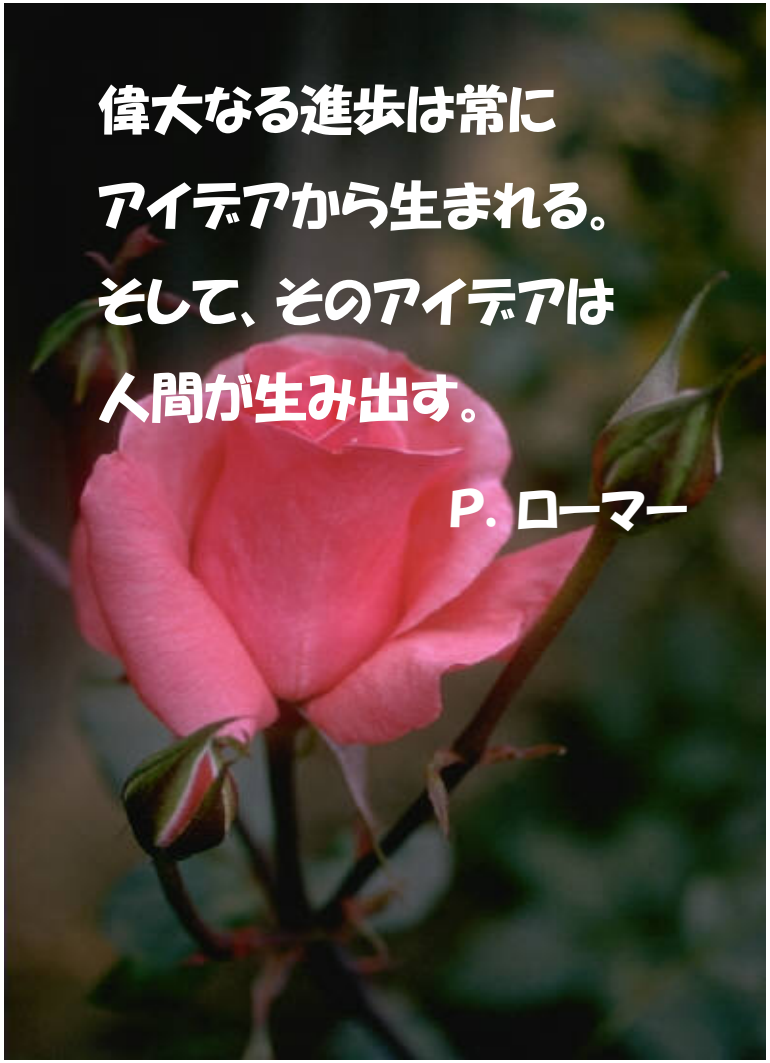
持続的成長

Innovative & Speedy

RHJ INTERNATIONAL

「クリエイティブ・クラスの世紀」

リチャード・フロリダ著
ダイヤモンド社
2007年4月発行



RHJ INTERNATIONAL

人財環境

「人も変わっている。消費者は生活者へ、従業員はプロへ。」

- 生活者
- プロ化
- 労働流動化

自己実現

- 小子化
- 高齢化
- 人口減少

労働力不足

いい人財確保

自己実現支援

やり甲斐、働き甲斐、生きがい

RHJ INTERNATIONAL

イノベーション Innovation

生産技術の革新だけでなく、新商品の導入、新市場・新資源の開拓、新しい経営組織の実施などを含む概念。
シュンペータが用いた。
日本では技術革新という狭い意味に用いることが多い。

広辞苑

企業の視点では

1. 30％以上の改善
2. 縦・横の変換
3. 流れの左右転換
4. 新しいこと・もの

RHJ INTERNATIONAL

イノベーション重要課題

グローバル　ポジショニング

ダイバーシティ　マネジメント

英語力

RHJ INTERNATIONAL

グローバル　ポジショニング

国体か　オリンピックか？

「３」の法則

RHJ INTERNATIONAL

ダイバーシティマネジメント

"多様な人材を活かす戦略"

多様な属性や価値観・発想を取り入れることで、
ビジネス環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、
企業の成長を個人のしあわせにつなげる。

（日経連ダイバーシティ・ワーク・ルール研究会の定義）

RHJ INTERNATIONAL

これまでは

これまでの日本社会

- ジェラシーの文化
- 行き過ぎた結果の平等
- 横並び主義

イノベーション25

画一性マネジメント
Uniformity Management

- ひとつの理想像
- 阿吽の呼吸
- 規模の経済性
- 効率性の追求

出る杭を打つ

RHJ INTERNATIONAL

価値観の大転換

画一性マネジメント Uniformity Management	多様性マネジメント Diversity Management
●ひとつの理想像	●明確なビジョン
●阿吽の呼吸	●異質の尊重
●規模の経済性	●協働の経済性
●効率性の追求	●創造性の追求

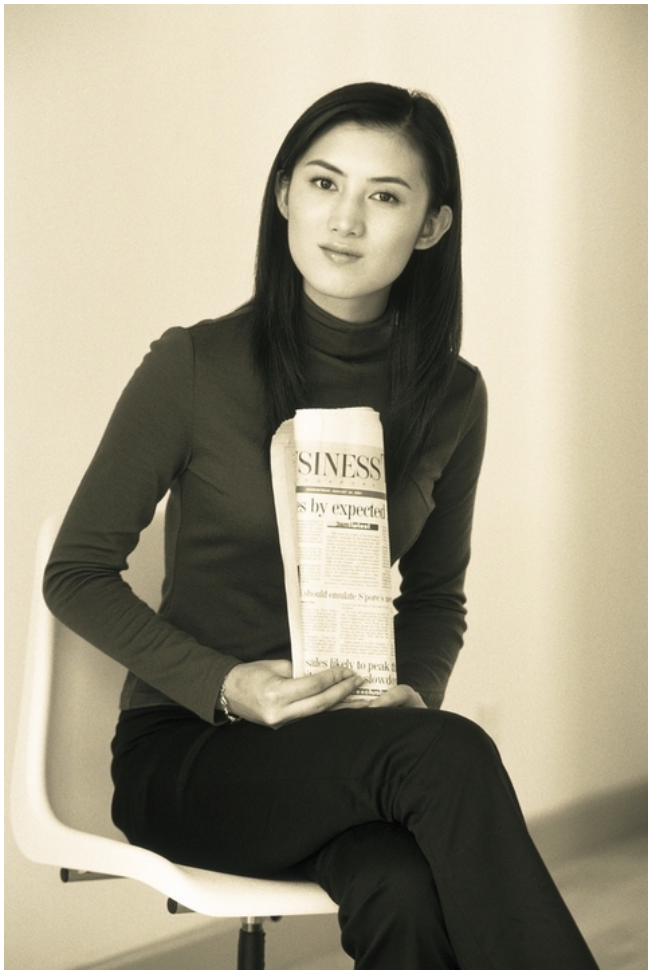
アプローチ：

1. ビジョンの策定
2. 画一性からの開放（社員のプロ化）
3. 多様性活用策導入（コラボレーション）
4. 多様性レベルの向上

RHJ INTERNATIONAL

ビジョンの明確化

●ビジョンに共感し、



その実現に参加する　・・・・・　社員
その実現の一翼を担う　・・・・・　BP
その実現をサポートする・・・・・　顧客・投資家

どんな会社でありたいか？

- 理念
- 信条（価値観）
- 目的
- 使命

RHJ INTERNATIONAL

画一性からの開放

社員のプロ化

プロフェショナル

- お客様課題に焦点
- 能力による役割
- 成果による報酬
- 高い自律性と説明責任
- マーケットでの位置

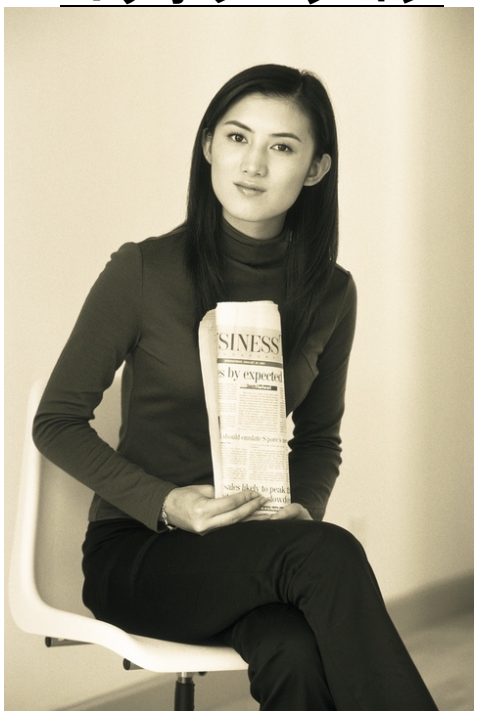
- 自由闊達な雰囲気作り
- 主体性の高揚（自立、自律）
- 能力管理、成果主義
- 人事制度の客観性向上
- 情報共有
- テレワーク環境
- オンデマンド学習環境

RHJ INTERNATIONAL

多様性利活用策

コラボレーションの促進

コラボレーション



- 目標の共有
- 活動の同期化

- エンパワーメント
- セル化
- プロジェクト制度の活用
- プロジェクト支援システム
- 情報共有
- テレワーク環境
- BP，顧客の参加

RHJ INTERNATIONAL

多様性レベルの向上

多様性は知識社会での経営資源

ＣＥＯの意志

- 外国人
- 女性
- 高年齢者

- ダイバーシティ フィロソフィ
- ダイバーシティ プロジェクト
- 障害の排除
- PDCA
- 人事評価との連動
- CSRとの連携

RHJ INTERNATIONAL

終わりに

知識社会の進展に伴って、
私たち一人ひとりに強く
要求されるようになって
きたことがある。

それが・・・、
個人のイノベーション
である。

P.ドラッカー「仕事の哲学」

RHJ INTERNATIONAL